

# 愛知いのちの電話

## ご案内

思い出してほしい

あなたのそばに寄りそっていたい

わたしたちのいることを……

社会福祉法人 愛知いのちの電話協会

● 名古屋いのちの電話 ●

## いのちの電話とは

### 1. はじまり

1953年ロンドンのイギリス国教会牧師チャド・バラがロンドンタイムスに自分の名前と電話番号とともに「あなたのいのちを絶つ前に、私に電話ください」という1行の広告を出しました。これが「サマリタンズ」(良き隣人)の始まりです。

日本でいのちの電話の活動は、ドイツ人宣教師ルツ・ヘットカンブラが中心となって、1971年東京で「いのちの電話」が創設されました。

### 2. 使命

いのちの電話の使命は「自殺予防」です。昨今わが国では自殺が多く1998年来連続して3万人を越えていました。2016年には2万1千人に減ったとはいえ、毎日60人の人が自ら命を絶っています。

自殺予防を使命とするいのちの電話の役割はますます重要なものになっています。

### 3. つながり

1977年当時「いのちの電話」は日本全国に5ヶ所でしたが、この運動を全国に拡大するため、「日本いのちの電話連盟」が結成されました。加盟団体は、2017年現在50センターとなっています。

### 4. 愛知いのちの電話協会の活動

愛知いのちの電話協会は1985年7月1日、全国19番目のいのちの電話として発足しました。現在24時間年中無休で電話相談・インターネット相談を行っています。

### 5. 新しい相談のツール

最近では若い人たちは電話ではなく、ネットを利用してコミュニケーションをとる人が多くなってきました。

いのちの電話ではインターネット相談を行って、さまざまな年代の利用者のニーズに応じています。



## いのちの電話の基本理念

- 1 24時間体制で相談活動を行います。
- 2 相談員は無償の市民ボランティアです。
- 3 相談員は自ら研修し、相談員としての資質を高めます。
- 4 かけ手である利用者・相談員はともに匿名を貫き、相談の秘密は必ず守ります。
- 5 かけ手である利用者・相談員はともに宗教・思想・信条を尊重します。
- 6 相談の限界になった場合は必要に応じて他の社会資源を活用します。



# 自殺を防ぐために私たちができること

## 1 自殺の現状

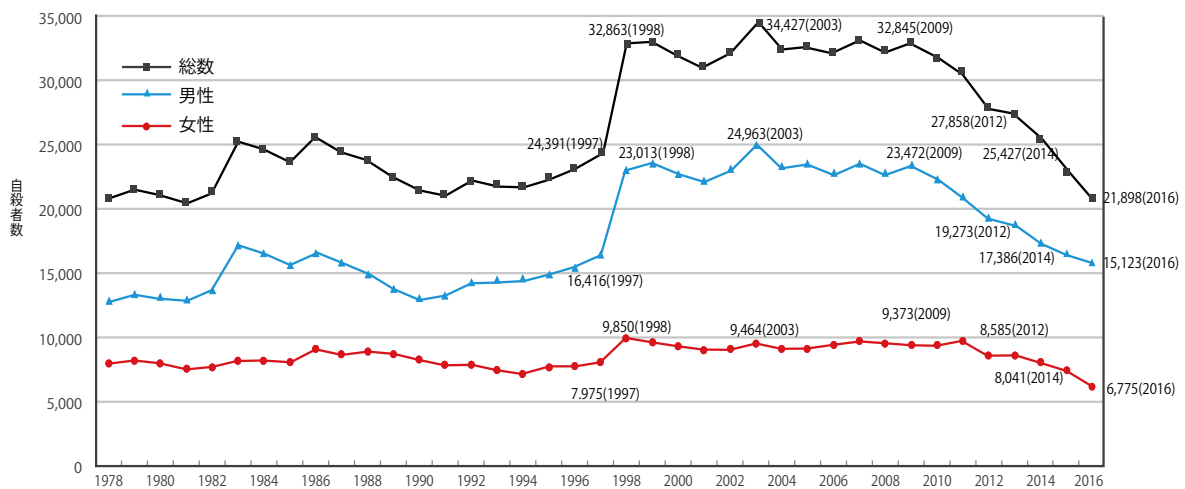
世界保健機関（WHO）は、2012年の世界の自殺者数（推計値）が合計で80万人以上になっていると明らかにしました。これは1日あたり2740人の人が世界で自ら命を絶っていることになります。自殺者数が1万人を超えている国は、25万人のインドをはじめ、中国12万人、米国4万人、ロシア3万人、など11カ国でした。また人口10万人あたりの自殺者数ではリトアニア30人が世界一で、韓国28人、スリナム24人と続きます。日本は6位の19人です。

WHOは、自殺の問題は悪化しつつあり、これが公衆衛生に与える影響の大きさを考えると迅速な行動が必要だと呼びかけています。

自殺の多くは予防が可能で、政府が関係部門を動員して自殺予防対策に人的・財政的資源を投入することが不可欠だと指摘しました。

WHOは、各国にカウンセリングなどの対策を求めています。

日本では1998年から自殺者が年間3万人を超え2011年にやっと3万人を割ることができました。2016年の自殺者は21,898人ですが1日あたり60人もの方が自ら命を絶っている現実があります。



資料：警察庁自殺統計原票データより内閣府作成

## 2 ともに生きやすい社会をめざして

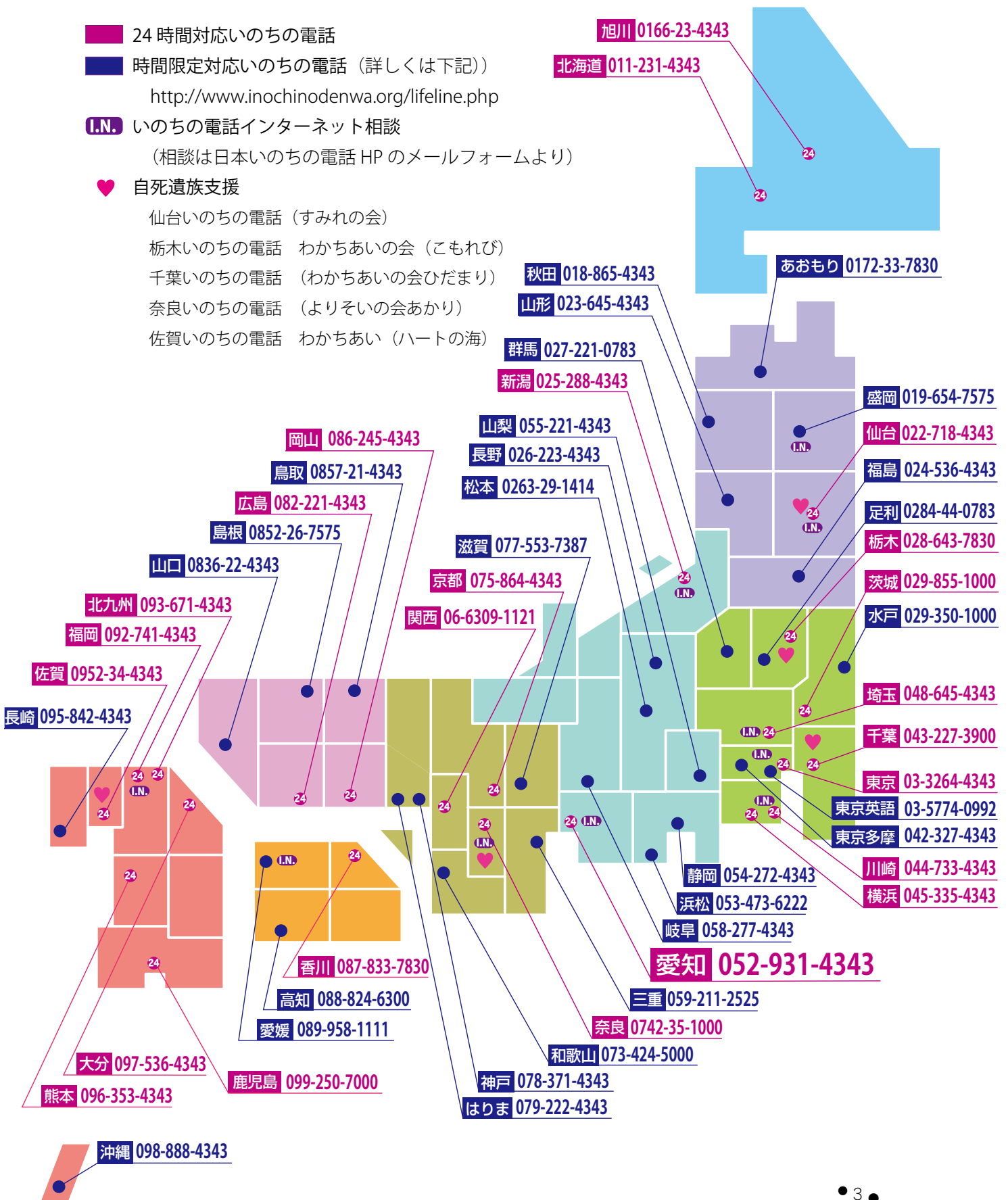
人は誰でも「生きたい気持ち」と「死にたい気持ち」の二つの気持ちを持っています。多くの方は「生きたい気持ち」の方が強いのですが、何かのきっかけやストレスで「死にたい気持ち」の方が強くなってしまふことがあります。

「死にたいと思う」人の多くは、孤独でさみしさを訴えます。いのちの電話ではそのような利用者に対して、丁寧にお話をお聴きし、その方の心に寄り添う形で相談を行っています。市民ボランティアとしてできることは限られていますが、この活動を32年間続けてこられたことは、私たちの活動が社会にとって必要であり、社会的責任のあるボランティア活動だと自負しています。

# いのちの電話ネットワーク 一般社団法人日本いのちの電話連盟

- 24 時間対応いのちの電話
- 時間限定対応いのちの電話（詳しくは下記）  
<http://www.inochinodenwa.org/lifeline.php>
- I.N. いのちの電話インターネット相談  
（相談は日本いのちの電話 HP のメールフォームより）
- ♥ 自死遺族支援

- 仙台いのちの電話（すみれの会）
- 栃木いのちの電話 わかちあいの会（こもれび）
- 千葉いのちの電話（わかちあいの会ひだまり）
- 奈良いのちの電話（よりそいの会あかり）
- 佐賀いのちの電話 わかちあい（ハートの海）



# 統計から見る名古屋いのちの電話

1985～2016年 総受信件数 総計 466,100 件

内訳 男性 233,186 件 女性 232,914 件

表1 年別受信件数

	男性	女性	無言	計		男性	女性	無言	計
1985年	1,465	1,905	573	3,943	2001年	8,114	8,749	2,617	19,480
1986年	3,626	4,071	1,466	9,163	2002年	9,173	8,010	2,783	19,966
1987年	4,721	4,700	2,227	11,648	2003年	9,215	7,885	3,184	20,284
1988年	7,603	5,224	4,356	17,183	2004年	8,647	8,348	3,051	20,046
1989年	6,979	3,905	4,232	15,116	2005年	8,992	8,546	2,223	19,761
1990年	5,670	3,469	3,504	12,643	2006年	8,519	8,743	3,090	20,352
1991年	4,970	3,836	2,882	11,688	2007年	8,799	10,916	2,792	22,507
1992年	5,210	4,094	3,189	12,493	2008年	9,477	13,177	3,310	25,964
1993年	6,069	4,306	3,306	13,681	2009年	10,493	13,281	2,944	26,718
1994年	5,514	4,125	2,981	12,620	2010年	9,682	12,296	3,354	25,332
1995年	6,025	3,911	2,385	12,321	2011年	9,012	12,679	2,892	24,583
1996年	6,038	3,966	2,285	12,289	2012年	9,984	10,688	2,924	23,596
1997年	6,301	4,940	1,942	13,183	2013年	8,282	9,688	2,604	20,574
1998年	5,989	6,392	1,913	14,294	2014年	7,294	8,228	2,175	17,697
1999年	7,364	8,289	2,610	18,263	2015年	7,497	8,379	1,539	15,876
2000年	9,800	8,357	3,962	22,119	2016年	6,662	7,811	1,570	14,473

表1は年別受信件数です。通常ダイヤル・自殺予防ダイヤル・震災ダイヤルを含みます。

無言（不明）は電話がつながったにもかかわらず話すことへの戸惑いを持つ利用者からの電話が多いのです。自身の辛さや悲しさを誰かに話すことの第一歩はとても勇気のいることなのです。

図1は年別受信件数の推移です。2009年から減少傾向です。これは相談員の減少のためにつながり難い現状によるものです。

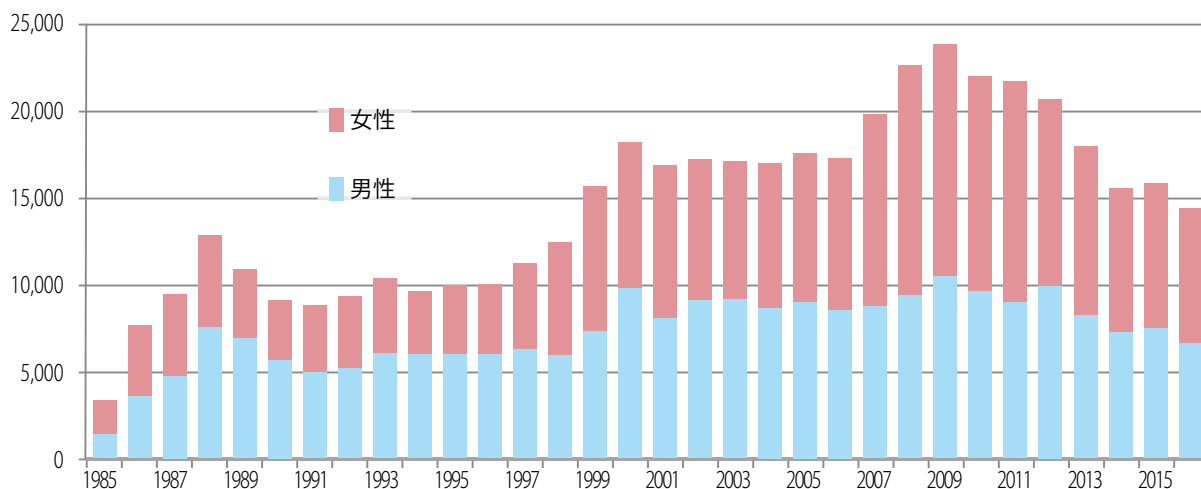


図1 年別受信件数の推移 (男性数 + 女性数)

## 通常ダイヤル

1985～2016年 受信件数 総計 461,275 件

### 最近3年間の受信状況

表2 受信件数

	受信件数			内自殺傾向		
	男	女	計	男	女	計
2014年	6,835	7,897	14,732	813	932	1,745
2015年	6,993	7,975	14,968	799	1,250	2,049
2016年	6,193	7,373	13,566	666	993	1,659

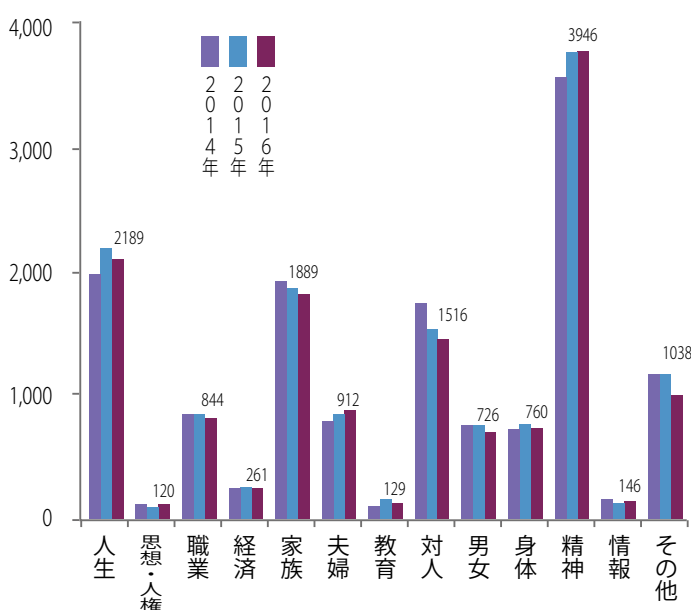


図2 問題別受信状況 (2016年のみ件数掲載)

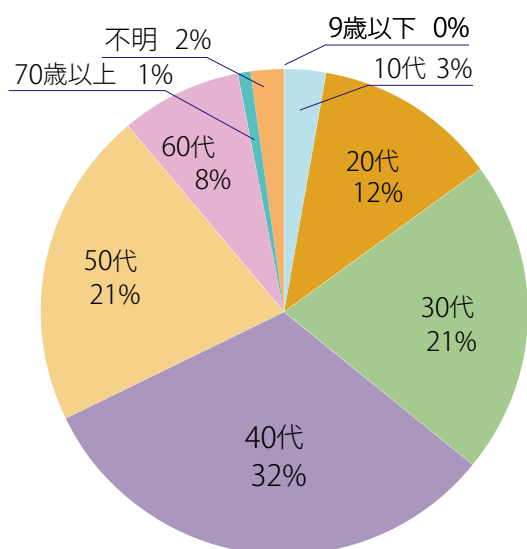


図3 年代別受信状況 (3年分)  
2014年1月～2016年12月

24時間・365日眠らない電話「通常ダイヤル」の相談件数は461,275件になりました。

表2は近年3年分の相談件数です。

図2は問題別の相談状況です。2016年の件数のみ図に表記しました。

様々な心の不調や病い・症状を訴える内容の電話が多い状況です。

その中で人間関係（対人や家族関係）の相談が増えてきています。

図3は年代別相談状況です。

40歳代が最も多く、30歳代40歳代の年齢層で53%を占めています。

表3は自殺傾向の内訳です。

自殺傾向率は11%台を推移しています。「念慮」が90%以上を占めています。「実行中」が数件あります。人命第一・危険回避を最優先に考えて辛い気持ちを聴く対応を心がけています。

表3 自殺傾向の内訳

	2014年	2015年	2016年	
自殺傾向件率	11.8%	14.8%	12.2%	
自殺傾向回数	念慮	1,609	2,049	1,510
	危険	93	113	98
	予告・通告	33	42	48
	実行	10	5	3
	合計	1,745	2,209	1,659

## 自殺予防ダイヤル

全国統計 —日本のいのちの電話連盟より—

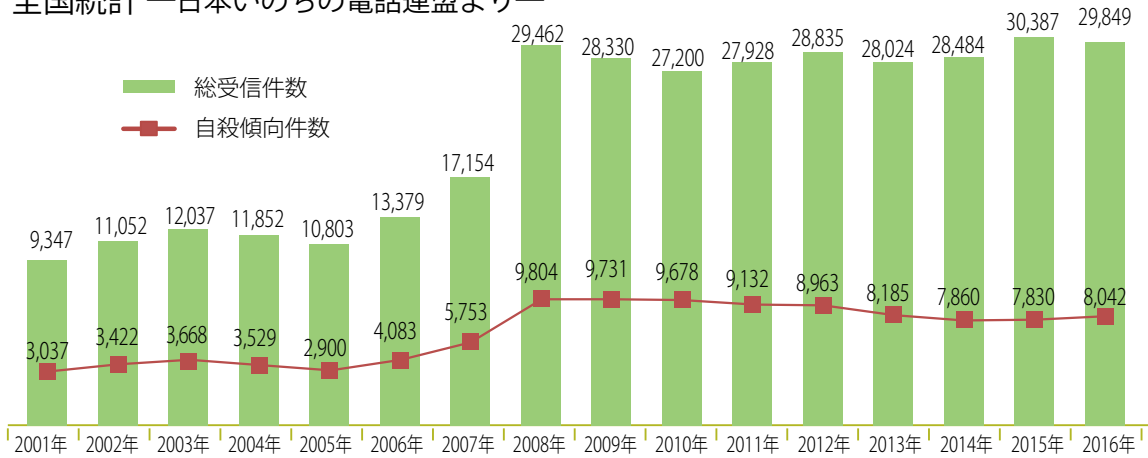


図4 全国総受信件数 ※2001年～2007年は年に7日間、2008年以降は年12日実施しています。

### 名古屋いのちの電話最近3年間の受信状況

表4 受信件数

	受信件数			内自殺傾向		
	男	女	計	男	女	計
2014年	459	331	790	95	71	166
2015年	470	354	824	75	70	145
2016年	432	382	814	85	107	192

表5 自殺傾向の内訳

		2014年	2015年	2016年
内自殺傾向件率		21.0%	17.6%	23.6%
自殺傾向数	念慮	156	136	172
	危険	5	8	14
	予告・通告	5	0	4
	実行	0	1	2
	合計	166	145	192

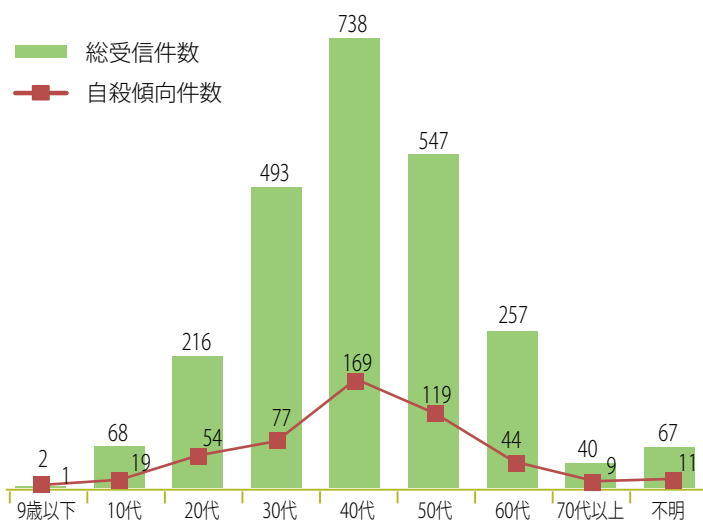


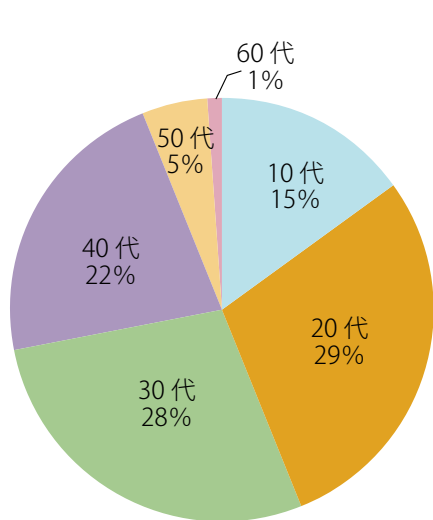
図5 年代別受信件数

自殺予防ダイヤルの2016年全国受信数は29,849件でした。自殺傾向率は全国では、26.9%、名古屋いのちの電話でも23.6%となり、フリーダイヤル10件中2～3件が自殺に関する相談でした。

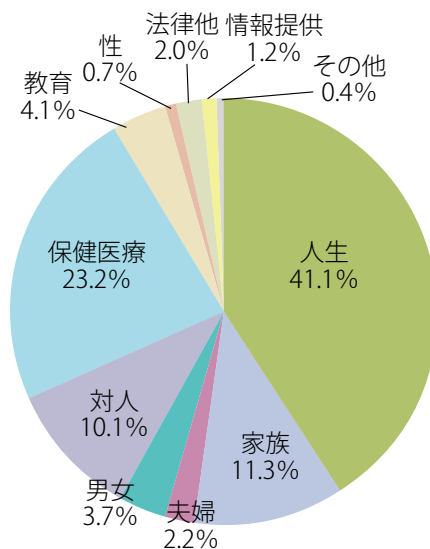
## インターネット相談 —全国統計より—

2008年開設のインターネット相談に2015年から参加しました。

相談受信数は2016年で2,734件（男性897件・女性1,837件）、自殺傾向率は47.4%でした。



年代別受信件数 2,734件

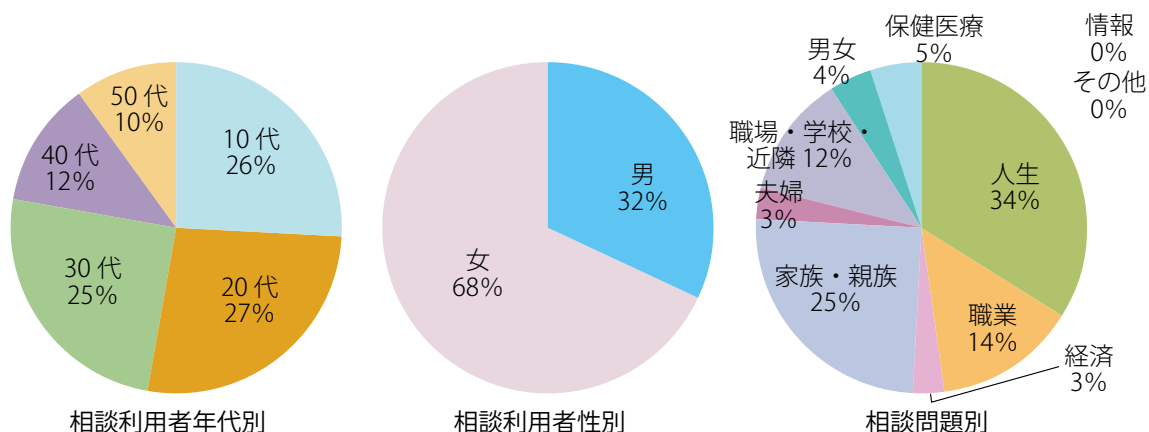


相談内容別受信件数 2,734件

## 新システム試行稼働について

日本いのちの電話連盟では、相談利用者のニーズに応え、またより安全で適切な相談活動を行うために、3回程度の継続相談に対応した対話型の相談方法を検討し、2016年10月より新システムを試行稼働させました。

利用者の年代は、20代、10代、30代の順で全体の8割近くを占めます。これはシステムに登録、利用する「マイページ」からの相談する方法が受け入れられているといえます。自殺傾向率が50%を超えることも、インターネットによる相談方法と関係する可能性があります。



相談内容別では「人生」、「家族・親族」、「職業」の順でしたが、具体的な困りごとや悩みを訴える相談が多数寄せられました。利用者は、学生、就労者の他、無業者や生活保護受給者など、幅広い層から利用されています。



## 相談員になるために — 養成事業 —

研修生が相談員になるためには、いのちの電話相談にかかわる態度や知識を学ぶとともに、人間について広く考え、相手や自分自身に対して向き合うことが必要です。そして、相手を尊重して話を聴き、気持ちを理解し、それを言葉でうまく伝えられるようになることが研修生には求められます。同時に、ボランティア活動を行っていく組織の一員として協力し、ともに活動できることが大切です。したがって、必要なスキルを具体的にあげれば、電話相談の基本的な知識とともに、人への広い知識・関心と価値観、対話能力、傾聴力、感受性、他者理解・自己理解、協調性などあります。初めて学ぶものも多くありますが、研修生がすでにもっている資質を広げ伸ばしていくことでもあります。時に、自分自身に向き合うことを求められる研修は大変苦しいものです。

以上のことをふまえて養成スタッフは、内容を検討してプログラムを決め、研修生一人一人にかかわり、こちら自身も学びや成長の機会であると思い日々取り組んでいます。

さて、研修内容は、これまでの経験から講義及び自己理解と相互理解にかかわる体験学習など最低 60 時間以上、9 か月以上の養成カリキュラムを実施し、期間は約 1 年半で、以下のように 4 期に分かれています。

### 1. 前期：講義及びグループワーク（6 か月、1 回各 2 時間）

（講義内容）

25 期（ねらい：聴く・自己理解・他者理解）

	講義	および	実習
1	養成講座概要・いのちの電話とボランティア	9	いのちの電話の匿名性と守秘
2	聴くこと・入門〈聴く(きく)・聞く(きく)・訊く(きく)〉	10	喪失感を考える・ペットロス
3	電話相談とライフサイクル①全般・乳幼児期	11	セルフスティームを高める
4	②児童・青年期	12	自殺予防と電話相談
5	③成人・中年・老年期	13	緩和ケア
6	自己理解・他者理解（グループワーク）	14	不合理な賢者の方々に
7	DVから見た人権と法律	15	傾聴のための第一歩（ロールプレイ）
8	人間と性について		

## 2. 宿泊研修：体験学習中心（一泊二日）

## 3. 後期：ロールプレイ、基本的な態度を身につける（4か月、1回各2時間程度）

## 4. 実習：実習及び個人スーパービジョン、グループワーク（5か月）

必要に応じ研修生との面談を行い、次の段階に進む前に面談を行っています。

ボランティア活動であります。相談員としての活動が難しいと判断した場合は、研修生と話し合い、研修の中断もあり、相談員としての認定に至らないこともあります。

養成スタッフやプログラムについては、以前は外部講師（医師、弁護士、教師、臨床心理士、大学教授など）が中心でしたが、ここ最近では相談員が積極的に養成に加わっています。実力をもつ相談員が時間をかけ個別に、丁寧にかかわり、養成が充実したものになるとともに、研修生についての資質をこちらが理解でき、研修のあり方を見直すことができていると思



ます。

スキルを身につけることも大切ではありますが、聴くこと、利用者を尊重する態度をとる事の難しさを感じ、謙虚に学び、仲間と共に、長く活動できる、そんな相談員を養成していけたらと思います。

**電話による自殺予防**  
社会福祉法人 愛知いのちの電話協会

### 電話相談員募集

**第25期電話相談ボランティア養成講座受講生募集要項**

**研修期間** 2017年4月～2017年8月 受講 18:30～20:30  
1日研修 9月15日(日) 12:30～14:30 (2日)  
2日研修 9月15日(日) 14:30～16:30  
3日研修 9月16日(月) 18:30～20:30  
4日研修 9月17日(火) 18:30～20:30

**研修会場** 2017年9月～4月  
① 2017年9月～12月 名古屋駅前市民会館 3F  
② 2017年1月～4月 70歳未満となり、その後も必要に応じて研修を行います。

**応募資格** ① 22歳以上65歳以下の方  
② 電話が得意  
③ 電話による自殺予防の知識・経験がある方が望ましい  
④ 他業がボランティアとして活動できる方  
⑤ 研修の受講料に同意できる方

**募集人数** 約18名

**受講料** 研修 18,000円 後期 18,000円 1日研修費 10,000円  
納入された受講料は返金いたします。

**応募方法** ① 電話によるインターネット申し込み(24時間受付)  
② 文「電話相談ボランティア養成講座」1000字程度  
実習の応募は3月31日までにお願いします。

**申込締切** 2017年3月18日(土) 定時締め切り(お申し込みは郵送して下さい)  
1・2月に面接があります。面接は必ずお申し込み後に行われます。

**申込先** 〒461-8601 名古屋駅前市民会館 3F 電話 257-7970  
社会福祉法人 愛知いのちの電話協会  
〒461-8601 名古屋駅前市民会館 3F 電話 257-7970  
FAX 052-538-8389 Fax 052-538-8384  
E-mail info@ichinotelephone.org

**社会福祉法人 愛知いのちの電話協会**

**愛知いのちの電話の活動**

① 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

② 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

③ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

④ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑤ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑥ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑦ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑧ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑨ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑩ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑪ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑫ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑬ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑭ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑮ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑯ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑰ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑱ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑲ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

⑳ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉑ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉒ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉓ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉔ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉕ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉖ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉗ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉘ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉙ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉚ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉛ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉜ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉝ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉞ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㉟ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊱ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊲ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊳ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊴ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊵ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊶ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊷ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊸ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊹ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊺ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊻ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊼ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊽ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊾ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。

㊿ 2017年2月1日に発生し、44名が犠牲となった自殺未遂者に対する電話による自殺予防活動を行いました。



## 相談員になったら — 研修事業 —

### 1 相談員研修事業

相談員の資質の維持・向上を図るため、継続研修・スーパービジョンが義務付けられており、2013年度からは経験年数別研修が行われています。

#### (1) 継続研修

全相談員が11グループのうちいずれかに所属し、毎月1回各分野の専門家による講習及び相談員による自主的な事例学習等を実施しています。グループごとに年に1回以上の公開講座を行っており、他グループからの参加を募っています。グループによっては施設見学や裁判傍聴などを行い、研修の場を広げています。

また、各グループでは、様々なケースの対応について検討するなど、自主研修の充実を図り、質の高い電話相談を目指していけるよう計画が進められています。

#### 〈2017年度の継続グループ・講座内容〉

	グループ名	講師	主な内容
①	発達障がい	大山 卓	自閉症スペクトラムや発達障がいの方の特性や支援について学ぶ。
②	法律問題の現場から	兼子 千佳	弁護士の扱う事件を通して、現代の社会問題について考える。
③	電話相談の基礎・虐待問題	兼田 智彦	自殺予防・虐待問題を含む「いのちの電話」の対応について考える。
④	こころの病を持った人への電話相談	來多 泰明	こころに病をもった利用者の理解と対応について、想起録をもとに学ぶ。
⑤	ケースカンファレンスと輪読	長瀬 治之	事例検討と電話相談をもう一度学び直すために長岡先生の『電話相談—現代のアジール』をメンバーで読む。
⑥	人間の心と仏教	水谷 巍	心理学が到達した人間理解と仏教の宇宙観は近いものに思える。少し哲学的な分野にふれ、考える。
⑦	インシデント・プロセス法／事例から学ぶ	三和 啓二	困った事例の困った場面を取り上げて、自分ならどのように対応するかお互いに考える。理解・対応の多様性が学べて、明日からの電話対応に役立つ。
⑧	臨床心理学を学ぶ	長坂 正文	臨床心理学の理論や技、役立つ知識を学ぶ。
⑨	ファシリテーションスキルを学ぶ	山本 秀樹	他者との関わりにおけるソーシャルスキルについて体験学習を通して学ぶ。
⑩	ケースを考えましょう	石田 妙美	電話相談の中で困ったケース、困難なケースの対応について一緒に考える。
⑪	緩和ケアにおける心理的援助	川出 英行	緩和ケアにおける援助的コミュニケーションの理論と実際を取り上げ、相談員の死生観と活動の充実に生かす。

## (2) スーパービジョン

19名のスーパーバイザーに依頼し、全相談員が1年に1回ずつ、スーパービジョンを受けています。ICレコーダーを使用し、逐語録・想記録・電話モニターによるスーパービジョンが実施されています。個人スーパービジョンの前後には、グループスーパービジョンも行われています。

## (3) 経験年数別1泊研修・1日研修

愛知県の補助事業として15年目、5年目の相談員を対象に犬山市で宿泊研修、3年目、7年目、10年目の相談員を対象に市内のホテルで1日研修を行っています。

日頃の相談活動を振り返る機会でもあり、日頃とは異なった環境で学び合う場としても有意義な研修となっています。同期で話も弾み、親睦を深めることもでき、参加者からは、「楽しく有意義な研修ができた」と大変好評です。

宿泊研修では、講師による講座「こういう相談員と出会いたい」やネット相談研修からのワーク、「ロールレタリング」を通して電話相談にもつながる実践的な研修を行っています。また、「セルフバック」として、コラージュで紙袋を仕上げ、自分自身を振り返る時間を設けています。



1日研修でも、講師による講座「利用者はどう応えられるか」や「ロールプレイ」「ロールレタリング」を取り入れた研修を行っています。具体的な利用者理解や対応について学ぶことができます。また、「聴く・聴いてもらう」体験により、電話対応に大いに役立つ研修となっています。

「ロールレタリング」では、文章による相談をグループシェアを通して返信文を作成することにより、より深い対応の仕方を学んだり、互いの考えを深め合ったりすることができています。

## (4) 厚生労働省補助事業研修

日本いのちの電話連盟より、講師の派遣を依頼し、講義とワークによる研修が毎年行われています。参加者からは、厳しい自己吟味をしながら活動することの大切さや責任を感じ取ることができたとの感想が出ています。

## (5) 自主研修会

ワーカーズグループ「カルテの会」による研修会や、電話相談の中での思いや問題点などを基に話し合い、内容を共有する場を設けています。また必要に応じて事例検討会を行い、電話対応について意見交換がなされています。

## (6) 自死遺族支援

一般社団法人日本いのちの電話連盟では自死遺族支援の活動を行っています。

愛知いのちの電話協会では、将来的な活動開始に向けて、毎月一回、自死遺族支援勉強会を開催しています。

行政でもなく、自助グループでもない、私たち「いのちの電話」だからこそ出来る支援を目指し、勉強を重ねています。



## 広報・啓発活動 1 いのちの電話の1年 (2016)

7月 創立記念日 (7/1)



7月 デンソーハートフルまつり



9月 スマイルデーなごや



9月 自殺予防デー



9月 相談員全国研修会なら



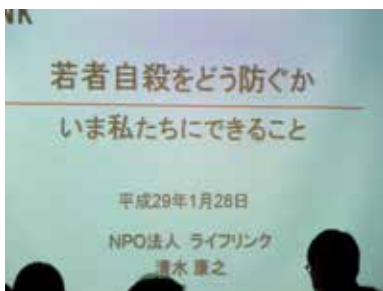
11月 秋の縁日 大須観音



11月 トヨタフェスティバル



2月 市民講座





## 広報・啓発活動 2

### 広報誌



1984年の創刊号から毎年3回発行  
まもなく100号

### リーフレット



### カード



### 小冊子



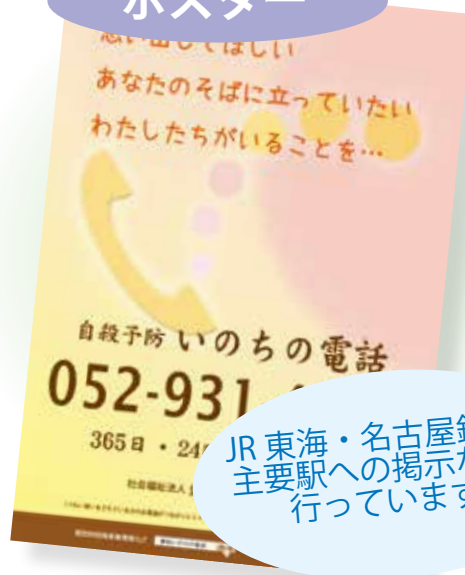
心がつらいとき開くと  
ホッとすると小冊子、  
死をほのめかす人への  
対応もあります。

### ご案内



いのちの電話の活動と  
自殺問題の現状などを  
わかりやすく表現しました。

### ポスター



JR東海・名古屋鉄道  
の主要駅への掲示などを  
行っています。

### ホームページ



## 支える人たち 理事・監事・評議員・研修スタッフ

### ●社会福祉法人愛知いのちの電話協会 理事・監事

理事長	小山 勇	中日新聞社常任顧問
副理事長	鈴木 郁雄	東海東京フィナンシャルホールディングス株式会社顧問
副理事長	豊田 彬子	財団法人豊田市国際交流協会理事長
理事	榎本 和	共和病院名誉院長・さくらクリニック院長・精神科医
理事	岡部 快圓	大須観音寶生院貫主
理事	田中 正樹	敷島製パン株式会社取締役副社長
理事	野村 純一	カトリック名古屋教区名誉司教
監事	内河 恵一	内河・雑賀・近藤法律事務所・弁護士
監事	榊 直樹	学校法人東邦学園理事長・愛知東邦大学学長

### ●評議員

石田 妙美	東海学園大学
伊藤 総俊	社会福祉法人愛知いのちの電話協会
大西 光夫	NPO 法人ボランタリーネイバーズ理事長
加藤 倫子	弁護士
浜屋 義幸	東海コンサルティンググループ代表
中村 隆	公益財団法人名古屋 YMCA 総主事
小室 尚子	金城学院宗教総主事
三和 啓二	臨床心理士
山本 秀樹	金城学院中学高等学校

### ●愛知いのちの電話協会にご協力いただく 講師・スタッフ

(五十音順・敬称略)

石田 妙美	東海学園大学	高橋 蔵人	人間環境大学
伊藤 義美	名古屋大学大学院	長尾ひろの	第二地方銀行カウンセリングセンター
井上 直美	臨床心理士	長坂 正文	東京福祉大学
榎本 和	共和病院	長瀬 治之	ながせ心理相談室
大山 卓	愛知県立三好特別支援学校	丹羽 咲江	産婦人科医
兼子 千佳	弁護士	野田 正文	修文大学短期大学部
兼田 智彦	愛知いのちの電話協会	橋本 治	岐阜大学大学院
川出 英行	海南病院	前田由紀子	臨床心理士
願興寺礼子	中部大学	松原 勝久	グリーン動物病院・獣医師
來多 泰明	共和病院	水谷 巍	崇覚寺僧侶
隈元眞理子	CAPNA・名古屋学芸大学	水谷 真	わだちコンピュータハウス・AJU 自立の家
佐藤 弘子	臨床心理士	三和 啓二	臨床心理士
関口 純一	精神科医	山本 秀樹	金城学院 中学高等学校



## ご寄附のお願い

社会福祉法人愛知いのちの電話協会の財政はみなさま方からのご寄附を中心として運営しています。

2016年度は約1500万円の予算のうち73%の1100万円をご寄附頂いています。

予算はセンターの維持管理、相談員の養成と研修、自殺予防のための広報啓発事業などに使わせていただいています。

### 1 賛助会費（年間1口）

個人会員 A 10,000円 B 5,000円 C 3,000円

法人会員 A 200,000円 B 100,000円 C 50,000円

### 2 一般寄附

賛助会費とは別に、随時自由な金額でもご寄附をいただいております。

これらの事業への寄附は税法上優遇されます。

### 3 送金方法

賛助会費、寄附は下記銀行、郵便局宛にお振込みをお願い申し上げます。

<銀行振込> 三菱東京UFJ銀行 大津町支店（普通）477029

<郵便振替> 00810-8-53758

口座名義：社会福祉法人 愛知いのちの電話協会

「いのちの電話」の相談員が、活動し続けていくために一人でも多くの皆様に資金ボランティアとしてご協力いただきたいと切望しております。また、皆様の知人、友人の方々にも、お声をかけていただければ幸いです。どうぞ、よろしくご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

### 残された財産を「社会に役立てたい」とお考えの方へ

ご自分が亡くなった後の財産を「社会に役立てたい」とお考えの方へ「社会福祉法人愛知いのちの電話協会」から、「遺贈による寄附」等についてのお願いです。

遺言（書）に基づいて特定の個人や団体に資産を分けることを「遺贈」といいます。遺言により、受取人やその内容を指定することにより、自分が亡くなった後に、自己の生前の意思に従った財産の配分ができるわけです。

社会福祉法人愛知いのちの電話は、自殺を考えている人や孤独の中に一人悩んでいる方々を電話を通じ、励まし支える活動を24時間365日続けていますが、全て寄附で運営しています。こうした活動を資金的に応援しようという方がおられれば、是非「遺贈」という方法をお考え頂きたいと、お願いする次第です。

## ☆ 遺贈によるご寄付

- 1 亡くなった後に残った財産を社会福祉法人愛知いのちの電話協会に寄付しても良いと思われる方は、遺言書を作成して頂き、遺言書の内容の一つに、例えば「私の財産から金〇〇円を愛知いのちの電話協会に遺贈する。」と財産を特定してご記入して頂くことになります。遺言書の書き方にはいくつかの「決まり」がありますので、ご連絡を頂ければ、専門家の助言等を含めて、遺言書の作成のお手伝いをさせて頂くこともできます。
- 2 遺言書の内容を適切に執行するために「遺言執行者」を定めることになります。遺言執行者は、未成年者や破産者以外ならどなたでもなることができますが、その点についても、ご希望があれば当協会において専門家等のご紹介も可能です。
- 3 遺言の執行  
遺言書を作られた方が亡くなった後、遺言執行者が遺言書の内容に基づいて財産の配分（遺言の執行）を行います。
- 4 この遺贈には相続税はかかりません。  
社会福祉法人愛知いのちの電話協会に遺贈していただきますと、当協会が公益を目的とする法人であるため、愛知いのちの電話協会への遺贈分が相続税対象財産から、減額されることになります。

## ☆ ご香典のお返しからのご寄付について

ご香典のお返しをする代わりに、その分を社会福祉法人愛知いのちの電話にご寄付頂いた場合には、感謝状と共に、ご香典を頂いた方への「お礼状」を必要枚数作成させていただきます。

## ☆ 生前のご寄附について

ちなみに、生前に社会福祉法人愛知いのちの電話協会にご寄付頂いた方には、確定申告の際の「寄付控除の特典」を受けるために必要な「領収書」を感謝状と共にお送りします。

## ☆ お問い合わせ

社会福祉法人愛知いのちの電話協会事務局

Tel : 052-508-8381 Fax : 052-508-8384

E-mail : info@nagoya-inochi.jp



## 愛知いのちの電話協会の33年のあゆみ（年表）

### 1983年

- 7月 第1回名古屋いのちの電話設立懇談会（中区栄中央教会）  
懇談会は6回開催され、設立準備会へと発展した。
- 10月 訓練プログラム企画委員会
- 11月 名古屋いのちの電話設立準備会：80名（中区栄中央教会）  
就任⇒ 設立準備委員長：塚田道生 事務局長：山下政一

### 1984年

- 4月 事務局開設＝聖霊病院マリア館2階
- 5月 第1期相談員養成講座開講（1次生・2次生を募集）
- 6月 機関紙「名古屋いのちの電話」準備号発行
- 10月 機関紙：第1号発行

### 1985年

- 3月 新事務局長 小川義雄氏就任、新主事 佐藤加恵氏・中野郁子氏就任
- 4月 機関紙：第2号発行
- 5月 開局記念コンサート「神野明ピアノリサイタル」
- 6月 新理事長 相馬信夫氏就任
- 7月1日 名古屋いのちの電話開局（10時～22時）相談員：53名
- 9月～ 運営・財務・訓練委員会の3委員会スタート  
第2期電話相談員養成講座開講
- 10月 ボランティア部発足



開局記念

### 1986年

- 5月 みこころセンターへ移転
- 6月 日本いのちの電話連盟へ加盟
- 9月 第3期電話相談員養成講座開講
- 10月 ツルカメ社会賞受賞
- 11月 機関紙7号発行
- 12月 全体懇親会（ミニバザーなど）

### 1987年

- 2月 世話人会発足
- 4月 第2期相談員認定
- 5月 理事会：1986年決算＝約1500万円
- 6月 チャンリティコンサート「由紀さおり・安田祥子の童謡コンサート」
- 9月 24時間体制の検討開始
- 11月 公開講演会：「狐狸庵先生大いに語る：遠藤周作さん」  
新事務局長 笠井康助氏就任



由紀さおり・安田祥子の  
童謡コンサート

### 1988年

- 1月 新理事 長岡利貞氏就任
- 4月 24時間に向けての相談室改修工事 電話機2台体制開始  
第4期電話相談員養成講座開講
- 10月 第1回 宗教者の集いによる「街頭キャンペーン」

## 1989年

- 2月 チャリティコンサート「チェリッシュ」愛知県文化講堂
- 9月 ニューヨーク・ハーレム・ゴスペルコンサート 五反城教会
- 11月 社会福祉法人認可申請の準備開始



公開講演会 笠原 嘉先生

## 1990年

- 2月 愛知県より「社会福祉法人愛知いのちの電話協会」設立認可される
- 6月 開局 5 周年・社会福祉法人設立記念式・感謝会 ルブラ王山
- 10月 自殺予防シンポジウム名古屋大会 愛知県産業貿易館
- 10月 第 5 期電話相談員認定

## 1991年

- 5月 相談員の会(ベルの会)設立
- 6月 愛知電話相談研究会立ち上げ(外部電話相談機関との連携・研究)
- 12月～ 愛知県内公衆電話ボックスへ「自殺予防いのちの電話」ステッカー貼り付け運動開始

## 1992年

- 1月 相馬信夫理事長朝日社会福祉賞受賞
- 4月 第 6 期電話相談員認定
- 10月 第 5 回全国電話相談研究集会開催 名古屋市女性会館  
電話相談ワークショップ開催 名古屋市女性会館

## 1993年

- 3月 開局 10 周年記念事業企画委員会発足
- 5月 第 7 期電話相談員認定
- 6月 いのちの電話の将来を考える会開催
- 11月 開局 10 周年記念フリーマーケット開催 東別院本堂前

## 1994年

- 4月 24 時間体制準備会発足
- 7月 名古屋いのちの電話ボランティアフォーラム「24 時間体制に向けて」
- 11月 第 8 期電話相談員認定

## 1995年

- 4月 ボランティア親睦会 東山荘
- 5月 フリーマーケット in 東別院開催
- 10月 10 周年記念式・感謝会開催 アイリス愛知  
10 周年記念誌「10 年のあゆみ」発行  
10 周年記念 フリーマーケット in 東別院開催
- 11月 10 周年記念 プラスコンサート 名古屋港湾会館

## 1996年

- 5月 第 9 期電話相談員認定
- 7月 いのちの電話支援オルガンコンサート(吉田徳子)開催
- 11月 第 17 回いのちの電話全国研修会名古屋大会  
名古屋国際会議場  
テーマ「引き継ぐバトンひとりひとりの力」  
～みなおそう つくりだそう 新しいいのちの電話

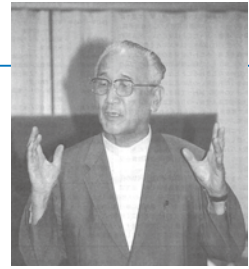


全国大会 名古屋大会



## 1997年

- 10月 初代理事長 相馬信夫司教逝去 81歳。  
相馬氏は1916年東京都で生まれ、東京帝国大学理学部を卒業後戦地へ赴き、敗戦後は東京カトリック神学院・上智大学を卒業してカトリック司教となり1969年から名古屋で活動していました。「カトリック正義と平和協議会」を担当、名古屋いのちの電話・AJU 自立の家などの設立にかかわり、1992年には朝日社会福祉賞を受賞しています。亡くなる1年前の1996年には、東チモールの独立運動を支援し、マレーシア当局に拘束されたこともありました。
- 10月 新理事長 長岡利貞氏就任



故 相馬信夫司教

## 1998年

- 2月 チャリティコンサート フルート 葦笛の会 電気文化会館  
5月 岐阜いのちの電話開局  
9月 第11期電話相談員養成講座開講  
11月 第10期電話相談員認定  
12月 24時間推進委員会  
自殺者3万人を超える

## 1999年

- 4月 みこころセンターから赤門ビルへ移転  
5月1日～ 24時間受信開始  
5月 眠らぬダイヤル発足記念の集い  
7月 いのちの電話フォーラム99  
11月 第11期電話相談員認定式  
12月 チャリティコンサート

## 2000年

- 1月 三重いのちの電話設立総会  
4月 木本事務局長退任。感謝する会開催  
加藤迪春氏事務局長代行となる。  
5月 第12期電話相談員養成講座開講  
8月 LILリニューアル会議開始(機関内部の改善などを話し合う)  
11月 フリーマーケット in 東別院

## 2001年

- 1月 いのちの電話ボランティア・関係者OBの会「友の会」結成  
7月 加藤省吾事務局長就任  
12月 フリーダイヤルによる「自殺予防いのちの電話」開始

## 2002年

- 4月 第13期電話相談員養成講座開講  
5月 チャリティコンサート 馬頭琴演奏 リポーさん  
12月 フリーダイヤルによる「自殺予防いのちの電話」

## 2003年

- 2月 第14期電話相談員養成講座開講  
4月 新理事長 野村純一氏就任  
12月 フリーダイヤルによる「自殺予防いのちの電話」

## 2004年

12月 フリーダイヤルによる「自殺予防いのちの電話」

## 2005年

4月 第15期電話相談員養成講座開講  
12月 フリーダイヤルによる「自殺予防いのちの電話」

## 2006年

4月 第16期電話相談員養成講座開講  
11月 チャリティギターコンサート 栄 中央教会  
12月 フリーダイヤルによる「自殺予防いのちの電話」

## 2007年

4月 谷川俊太郎さんと朗読とお話しの会  
「日本語の形」 芸術創造センター  
4月 第17期電話相談員養成講座開講  
12月 クリスマスコンサート



お話しの会での谷川俊太郎さん（右）

## 2008年

1月 自殺予防講演会「電話でところをつなぐ」  
精神科医：清水将之氏 「自殺は防止できる」  
日本いのちの電話連盟斉藤友紀雄 「世界と日本一電話相談のこれまでとこれから」  
4月 第18期電話相談員養成講座開講

## 2009年

4月 第19期電話相談員養成講座開講  
10月 事務局移転問題



館野泉コンサートチラシ

## 2010年

4月 高岳新事務所へ移転  
6月 25周年記念ピアノリサイタル 館野泉コンサート  
7月 第20期電話相談員養成講座開講  
9月 25周年記念事業  
「もしもし、いのちの電話です 心がつらいとき開く本」発行（愛知県助成事業）  
「いのち支えて 25年の軌跡」発行 自殺予防シンポジウム・感謝会実施

## 2011年

3月 震災ダイヤル開始  
9月 第20期 電話相談員認定

## 2012年

2月 野村理事長退任 小山勇理事長就任  
4月 相談員の研修体制充実（期別研修会宿泊1日）  
相談員の70歳退任後3年間延長を実施  
第21期 電話相談員養成講座開講  
7月 兼田智彦事務局長就任  
9月 感謝の会 アイリス愛知



## 2013年

- 4月 名古屋市と提携して各区生涯学習センターで「傾聴講座」開始  
第22期電話相談員養成講座開講
- 7月 創立記念日28周年感謝の会 KKRホテル名古屋
- 9月 第21期電話相談員認定
- 9月～ いのちの電話カード作製配布10万枚（森村豊明会助成事業）

## 2014年

- 4月 第23期電話相談員養成講座開講
- 5月 「もしもし、いのちの電話です 心がうらいときに開く本」  
発行1万部（名古屋北ロータリークラブ助成事業）
- 7月 相談員カムバックキャンペーン実施  
創立記念感謝の会 29周年 KKRホテル名古屋
- 9月 第22期電話相談員認定
- 11月 古謝美佐子さんコンサート実施 600名参加 名古屋能楽堂



古謝美佐子コンサートチラシ

## 2015年

- 2月 市民講座「流水の伝言」 講師 小原玲一氏・堀田あけみ氏
- 3月 鉄道自殺予防のための「いのちの電話ポスター」作製 JR・名鉄各駅へ掲示  
（森村豊明会助成事業）
- 3月 インターネット相談開始（名古屋市助成事業）
- 7月 30周年記念祝賀会 中日パレス  
パンフレット「愛知いのちの電話ご案内」発行
- 8月 第23期電話相談員認定
- 9月 スマイルデー名古屋参加
- 11月 30周年記念チャリティコンサート  
「奇跡のバイオリン いのちつないで」宗次ホール



30周年記念チャリティコンサート

## 2016年

- 1月 市民講座「自死遺族に寄り添う」 講師 石倉紘子氏（こころのカフェきょうと）
- 7月 創立記念感謝会31周年 中日パレス
- 9月 24期電話相談員認定  
スマイルデーなごや参加
- 11月 大須観音チャリティイベント 秋の縁日バザー

## 2017年

- 1月 市民講座「若者の自殺を考える」 講師 清水康之氏（ライフリンク代表）  
栄ガスビル 160名参加
- 2月 25期養成講座募集説明会開催
- 5月 25期養成講座開始 23名
- 8月 スマイルデー名古屋参加
- 10月 全体研修会・懇親会 開催
- 11月 大須観音 いのちの電話チャリティイベント開催（予定）
- 11月 愛知いのちの電話ご案内 第2版発行（公益財団法人 森村豊明会助成事業）

寄り添い続けよう いのち



公益財団法人 森村豊明会のご支援により発行いたしました

相談電話は **052-931-4343** 24時間 通話料金がかかります。

いのちの電話インターネット相談 <http://www.inochinodenwa-net.jp>

いのちの電話ナビダイヤルセンター **0570-783-556** 10時～22時

通話可能なセンターにつながります。通話料金がかかります。

毎月10日 自殺予防いのちの電話 **0120-783-556** 通話無料 午前8時～翌朝8時

## 愛知いのちの電話 ご案内

---

発行日  
2017年11月1日

社会福祉法人 愛知いのちの電話事務局  
TEL 052-508-8381 FAX 052-508-8384 E-Mail [info@nagoya-inochi.jp](mailto:info@nagoya-inochi.jp)  
事務局開設 10:00～18:30 (月～金曜日)

---

